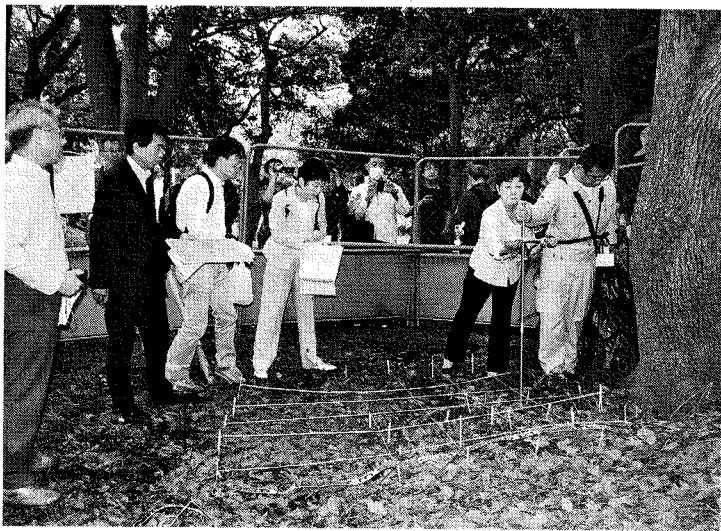


東京・葛飾区 水元公園

都が初めて除染実施へ

放射線量測定 9地点で基準超

日本共産党東京都議団の申し入れを受けて都は25日、葛飾区の都立水元公園の放射線量測定を14地点で行い、9地点が文科省ガイドラインの除染基準とを決めました。



都職員(右端)の放射線量測定に立ち会う党都議団ら=25日、東京都葛飾区・水元公園第2駐車場西側植え込み

対象(周辺よりも地上1メートルで1センチ以上)に該当することを確認し、福島原発事故以来、初めて都が除染を行うこととを決めました。

16センチを超えました。南側植え込みの地表は6・46センチと高線量でした。滝澤達・建設局公園管理担当部長は取材陣に「文科省ガイドラインの(除染)基準をこえたので、国や都環境局とも相談し、早急に除染する。今日の結果は都のホームページに載せる」と話しました。

党都議団は昨年から測定は、党都議団が立ちあい、報道各社や区民らが見守りました。党都議団の調査(22日発表)で高線量だった同公園駐車場の西側植え込みでは30センチメッシュで12地点、駐車場南側の植え込みは2地点を測定。西側植え込みでは8地点、南側植え込みでは1地点の地上1メートルの空間線量が都の除染基準の1・

「測定は基本的に不要」と拒否し続けてきました。党都議団の調査で、11日には水元公園内の土壌で最高25万分を検出しましたが、都の測定(20日)で「基準以下」だったとし、また除染を拒んだため、22日には党都議団の立ち会いのもと、公開で詳細な調査と除染を行うよう申し入れていました。

かち佳代子都議の話 都は周辺より1センチ以上高いところはないと言いつつ、今日の結果が、今日の測定で私たちの指摘の正しさが立証されました。基準を超えたところは直ちに除染し、水元公園とすべての都立施設での詳細な測定をすべきです。

指摘裏付け

党都議団の調査が動かす

党都議団の調査が動かす